



愛知県と「企業の森づくり」協定を締結
(2009年02月26日)

当社は3月1日(日)に愛知県と「企業の森づくり」協定を締結し、今後豊田市内の県有林5ヘクタールの提供を受けて、森林整備活動などさまざまな企業市民活動を行っていくこととなりました。

「企業の森づくり」とは、愛知県が企業市民活動の場として企業に県有林を提供する事業であり、2007年から開始されてこれまで3社が協定を結んでいます。

当社は「企業も社員も共に社会に生きる一市民である」との考え方から、「良き企業市民」として、地域に密着したさまざまな企業市民活動に取り組んでいます。当社やグループ企業の工場が多く立地する矢作川流域では、これまで上流域の長野県根羽村で森林整備・保全活動、下流域の安城市では河川清掃活動の活動を行ってきており、加えて中流域での活動を推進するために、今回「企業の森づくり」に応募しました。

県から提供を受けるのは、豊田市の山間部にある5ヘクタールのスギ・ヒノキの人工林です。今後はこの人工林で「『緑のダム』を作ろう!!」をキャッチフレーズに、地元の市民団体のみなさんとともに、森林の持つ水源かん養、土砂流出防止などの機能を高めるためのさまざまな森林整備活動を行っていきます。また地域の小学生を対象とした環境教育の場としても活用し、林内での自然観察等を通じて森林の大切さを学んでもらう予定です。

<概要>

1.活動期間:3年間(2009年3月1日から2012年2月29日まで)

2.活動内容:

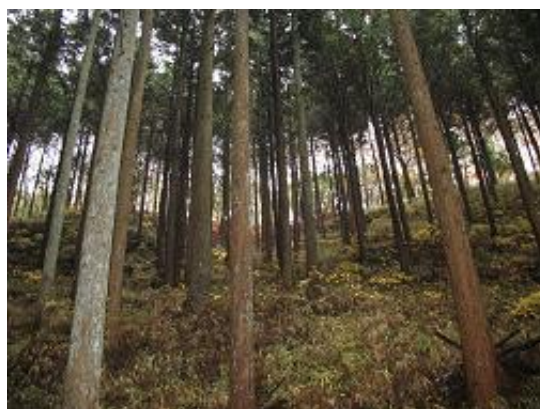
- (1)人工林の整備・・・社員とその家族や近隣住民ボランティアが、間伐、除伐、下草刈り等を地元の市民団体の協力のもと実施
- (2)環境教育・・・地元の小学生を対象に、自然観察、環境にまつわるクイズ等を実施

3.活動区域(提供を受けた県有林):

- (1)住所:愛知県豊田市羽布町ニ夕瀬(ふたせ)地内
- (2)面積:5ヘクタール
- (3)現況:スギ・ヒノキ人工林(樹齢33~51年)

4.今後のスケジュール:

3月16日に、人工林の混み具合や危険な場所など間伐作業の事前調査を行います。この調査結果をもとに森林整備プランを作成し、12月頃に除間伐を実施する予定です。



活動区域となる森

※本件は2009年2月26日に、愛知県より報道発表されました

<関連リンク1 [アイシン精機の企業市民活動](#)>

<関連リンク2 [環境学習サイト「アイシン エコ学校」](#)>